

6 地域重点政策ユニット

地域重点政策ユニットは、主な施策の展開方向に基づいて、重点的に取り組むプロジェクトです。

地域重点政策ユニットのプロジェクト名称	推進エリア
1 魅力ある地域資源を活かした来訪促進プロジェクト	道北連携地域
2 安全・安心な地域づくりプロジェクト	道北連携地域
3 新エネルギー [*] 導入・活用推進プロジェクト	道北連携地域
4 上川地域を支える担い手育成・人材確保プロジェクト	上川地域
5 上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト	上川地域
6 自然と共生する上川地域づくりプロジェクト	上川地域
7 るもいの「食」「自然」を活かした関係人口 [*] の創出・拡大プロジェクト	留萌地域
8 ポテンシャルを活かした「ゼロカーボンるもい」推進プロジェクト	留萌地域
9 るもい地域の未来を担う人材の育成・確保プロジェクト	留萌地域
10 力強い宗谷の1次産業推進プロジェクト	宗谷地域
11 自然の恵みを享受 宗谷共生プロジェクト	宗谷地域
12 多様な人材で未来を拓く 宗谷創生プロジェクト	宗谷地域

魅力ある地域資源を活かした来訪促進プロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

【主な実施主体】国・道・市町村・民間

目的

天塩川や大雪山、日本海オロロンライン、利尻礼文サロベツ国立公園をはじめとした特色ある自然、高品質ブランド米や多種多様な野菜、果樹、豊富な海産物や乳製品などの食、歴史や写真、絵本などの芸術文化等を活かして地域の魅力を発信し、広域周遊や体験・滞在型観光等を推進するほか、スポーツ・音楽の合宿誘致などを通じて、道北地域への来訪促進を図ります。

施策展開

- 【施策】
- 特色ある自然や歴史、芸術文化をテーマとした地域の魅力発信
 - 交通ネットワークの維持・拡充及び利便性の向上
 - 「食」や「食文化」をテーマとしたフードツーリズムの推進
 - 広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進
 - 離島交流の推進
 - 地域の気候風土や街並みなどを活かしたスポーツや音楽合宿の誘致

〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI[※]）〉

○観光入込客数	2,203万人（R5）	→	2,634万人（R11）
[内訳]			
観光入込客数（上川）	1,846万人（R5）	→	2,194万人（R11）
観光入込客数（留萌）	174万人（R5）	→	214万人（R11）
観光入込客数（宗谷）	183万人（R5）	→	226万人（R11）

＜施策毎の主な取組方向＞

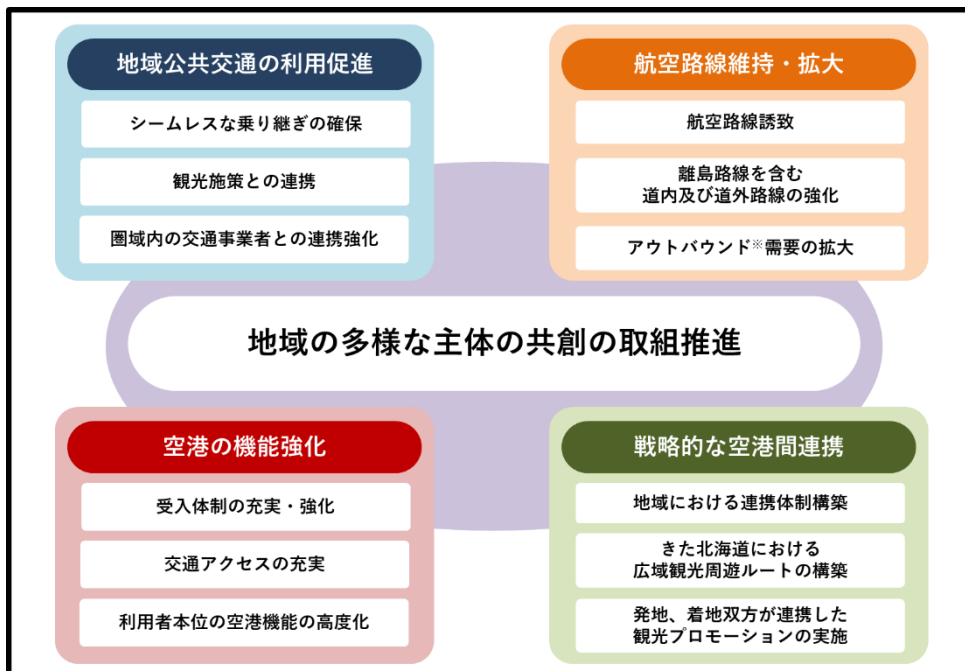
■ 特色ある自然や歴史、芸術文化をテーマとした地域の魅力発信

- 特色ある自然や地域特有の歴史・風土、芸術文化に関する国内外への情報発信
- 自然や芸術文化等をテーマとしたイベントの実施や国内外との交流の推進
- 自然環境・歴史文化の保全や芸術文化の振興



■ 交通ネットワークの維持・拡充及び利便性の向上

- バスや鉄道など地域公共交通の利用促進に向けた取組の推進
- 離島路線を含む航空路線維持・拡大に向けた取組の推進
- 空港の機能強化に向けた取組の推進
- 戦略的な空港間連携に向けた取組の推進



■ 「食」や「食文化」をテーマとしたフードツーリズムの推進

- 「食」の魅力を活かす生産者、観光事業者、ホテル・飲食店等の連携促進
- 道北地域の「食」の魅力を集積したイベントの活用による観光振興



■ 広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進

- 体験観光メニューの開発や受入体制の整備等による観光地づくり
- 地域間の連携による広域周遊観光の推進
- 3振興局の共同プロモーション及び情報発信による誘客促進



■ 離島交流の推進

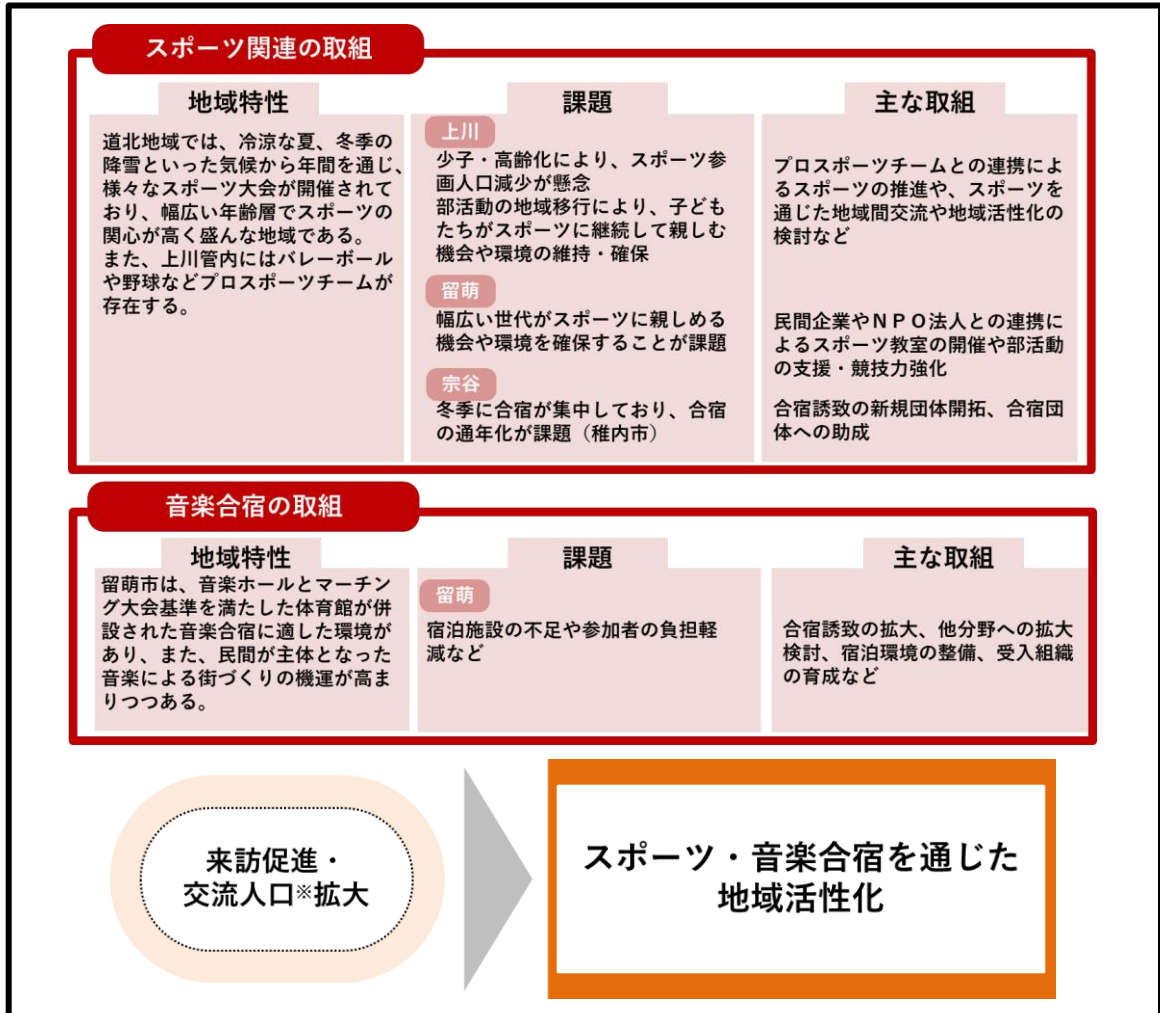
○離島ならではの滞在型観光の推進

○離島の活性化に向けた交流促進



■ 地域の気候風土や街並みなどを活かしたスポーツや音楽合宿の誘致

- スポーツ及び音楽の活動推進・合宿誘致
- 情報の発信
- 受入体制の整備推進



関連する主な基盤整備

- 高規格道路の整備
 - ・高規格道路の整備促進
- 安心して快適な旅ができる交通ネットワークの整備
 - ・観光拠点へのアクセス道路の整備
 - ・航空機の安定運行確保など、空港機能維持のための施設整備
- 都市の活性化や生活の質の向上を図る道路網の整備
 - ・都市の円滑な交通を確保するためのバイパス、環状・放射道路などの整備
 - ・渋滞解消や市街地の一体化のための立体交差などの整備

関連するSDGsの目標



安全・安心な地域づくりプロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

【主な実施主体】国、道、市町村、民間

目的

少子高齢化が進むなか、広大で離島も有する道北地域において、心身ともにすこやかに活力ある生活を送るためには、病気の予防・生活習慣の改善など自らの健康の保持・増進が重要であるとともに、地方・地域センター病院[※]を中心に地域における医療機関が機能分担と連携を図り、地域に必要な医療体制を確保し、救急医療[※]体制を充実させることが求められています。

また、安心して子どもを産み育て、高齢者を含めた誰もが住み慣れた街で元気に暮らせる地域づくりが必要とされています。

こうしたことから、地域住民が健康で安心して暮らせるよう、地域の連携による医療体制の確保や地域包括ケアシステム[※]の推進を図るとともに、安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりのための子育て支援施策の充実に努めます。

また、近年の激甚化する自然災害等への備えとして、市町村や防災関係機関などとの連携強化を目的とした実践的な防災訓練をはじめ、1日防災学校のサポートや自主防災組織[※]率向上に向けた取組、災害時要配慮者に関する啓発活動など、地域住民が安心して暮らせるよう、自助・共助・公助のあらゆる面から防災・減災の取組を進めていきます。

施策展開

【施策】 ■ 全ての世代が安心して暮らせる環境づくり

■ 災害（地震、津波、大雨、火山等）に対する防災体制の強化等

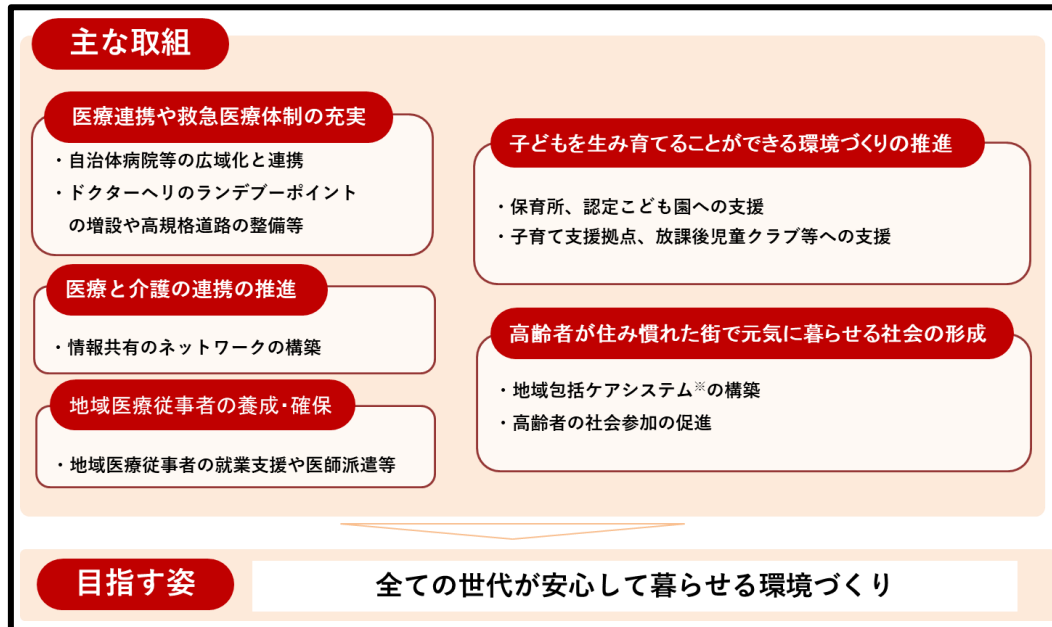
〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI[※]）〉

○認定こども園設置数	74カ所（R6）	→	81カ所（R11）
[内訳] 上川	63カ所（R6）	→	66カ所（R11）
留萌	6カ所（R6）	→	10カ所（R11）
宗谷	5カ所（R6）	→	5カ所（R11）
○自主防災組織活動カバー率	75.6%（R5）	→	86.2%（R11）
[内訳] 上川	56.0%（R5）	→	86.2%（R11）
留萌	47.4%（R5）	→	86.2%（R11）
宗谷	48.7%（R5）	→	86.2%（R11）

<施策毎の主な取組方向>

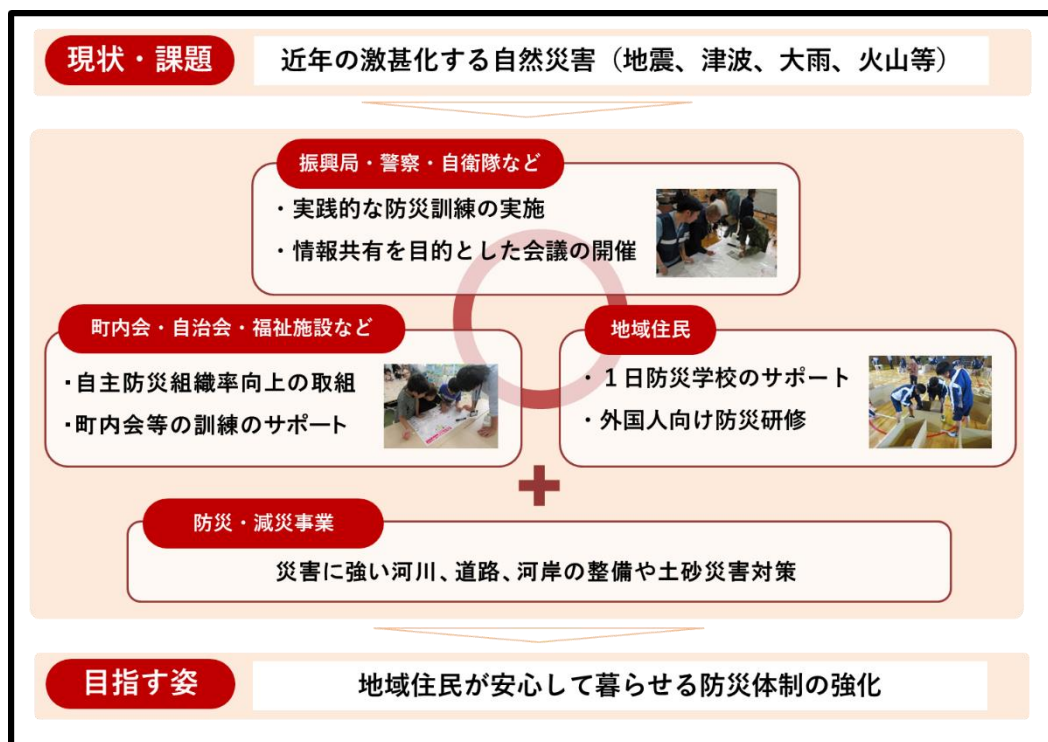
■ 全ての世代が安心して暮らせる環境づくり

- 医療連携や救急医療[※]体制の充実
- 医療と介護の連携の推進
- 地域医療従事者等の養成・確保
- 子どもを生き育てることができる環境づくりの推進
- 高齢者が住み慣れた街で元気に暮らせる社会の形成



■ 災害（地震、津波、大雨、火山等）に対する防災体制の強化等

- 自主防災組織[※]活動カバー率向上への取組
- 防災関係機関との連携強化



関連する主な基盤整備

- 高規格道路の整備
 - ・高規格道路の整備促進
- 安全で安心な道路環境の整備
 - ・幹線道路や通学路等における交通安全対策の推進
 - ・地域医療を支える交通ネットワークの整備
- 冬期における安全で快適な道路交通の確保
 - ・冬期を踏まえた歩行空間の確保のための歩道の整備
 - ・地吹雪・雪崩対策など冬に強い道路施設の整備
- 災害に備えた安全な道路環境の整備
 - ・避難路や緊急輸送道路※、危険箇所の防災対策及び無電柱化などの整備
 - ・社会の重要なインフラ※を維持するため、道路橋などの修繕
- 洪水や土砂災害、火山噴火や大規模地震、津波などに備えた安全性の高い災害防止施設の整備
 - ・火山砂防施設や、土砂災害対策施設の整備
 - ・総合的な治水・利水対策の推進
 - ・火山噴火緊急減災対策砂防の推進
 - ・海岸の高潮・浸食・津波対策施設などの整備
 - ・社会の重要なインフラを維持するため、河川・砂防・漁港施設などの修繕

関連するSDGsの目標



新エネルギー導入・活用推進プロジェクト

【推進エリア】道北連携地域（上川地域、留萌地域、宗谷地域）

【主な実施主体】国、道、市町村、民間

目的

道北地域には、風力、太陽光やバイオマス[※]、中小水力、地熱のほか、積雪寒冷な気候を活かした雪氷冷熱[※]など、多様な新エネルギー[※]資源が豊富に存在しています。留萌、宗谷地域では、恵まれた風況を活かした風力発電施設の建設が継続して進められているほか、地域の特色ある取組として、稚内市ではメガソーラー発電施設の電力活用を視野に地域エネルギー会社が設立されるとともに、豊富町の未利用天然ガスを活用した水素サプライチェーン[※]を構築するプロジェクト、上川町の地熱発電[※]計画、上川管内各地の木質バイオマス[※]エネルギーを活用した取組など、ゼロカーボン北海道[※]の実現を目指し、地域エネルギーの地産地消が進められています。

しかし、新エネルギーの導入、活用を加速化させるには、採算性や法規制のほか、環境との調和や地域社会の理解・協力、送電網の容量など、解決しなければならない課題も多くあります。

こうしたことから、連携地域を構成する上川、留萌、宗谷の各地域における新エネルギーの導入ノウハウや効果などについて情報共有を図るとともに、各地域の自然や産業に根ざした新エネルギーなどについて、導入に向けた活動の促進や活用の推進を図ります。

施策展開

- 【施策】
- 地域が連携した新エネルギー導入促進の取組
 - 自然に根ざしたエネルギーの地産地消に向けた取組
 - 木質バイオマスの安定供給やエネルギー利用の推進
 - 地熱発電の導入に向けた取組支援
 - 農村地域における新エネルギーの導入・利用拡大の推進

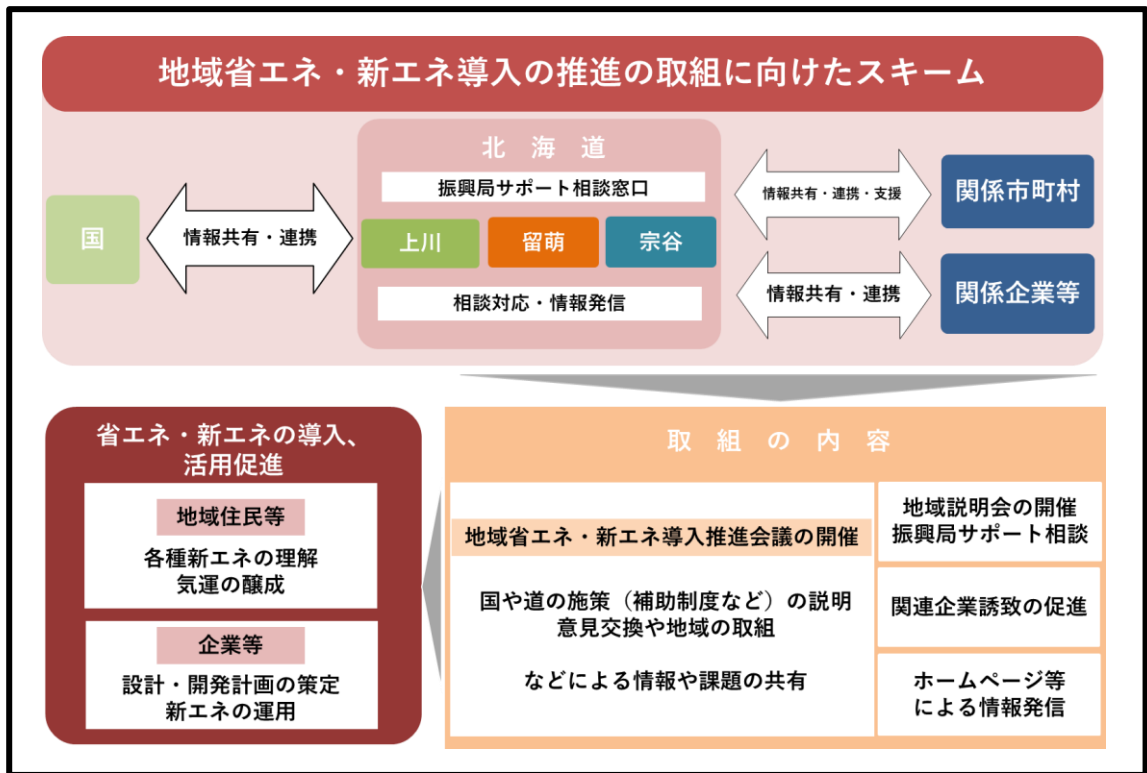
〈プロジェクトの重要業績評価指標（KPI[※]）〉

○新エネルギー発電設備容量 [※] （万kw）	48.7万kw（R3）→ 90.8万kw（R11）
[内訳] 上川	24.8万kw（R3）→ 46.3万kw（R11）
留萌	9.3万kw（R3）→ 17.3万kw（R11）
宗谷	14.6万kw（R3）→ 27.2万kw（R11）

<施策毎の主な取組方向>

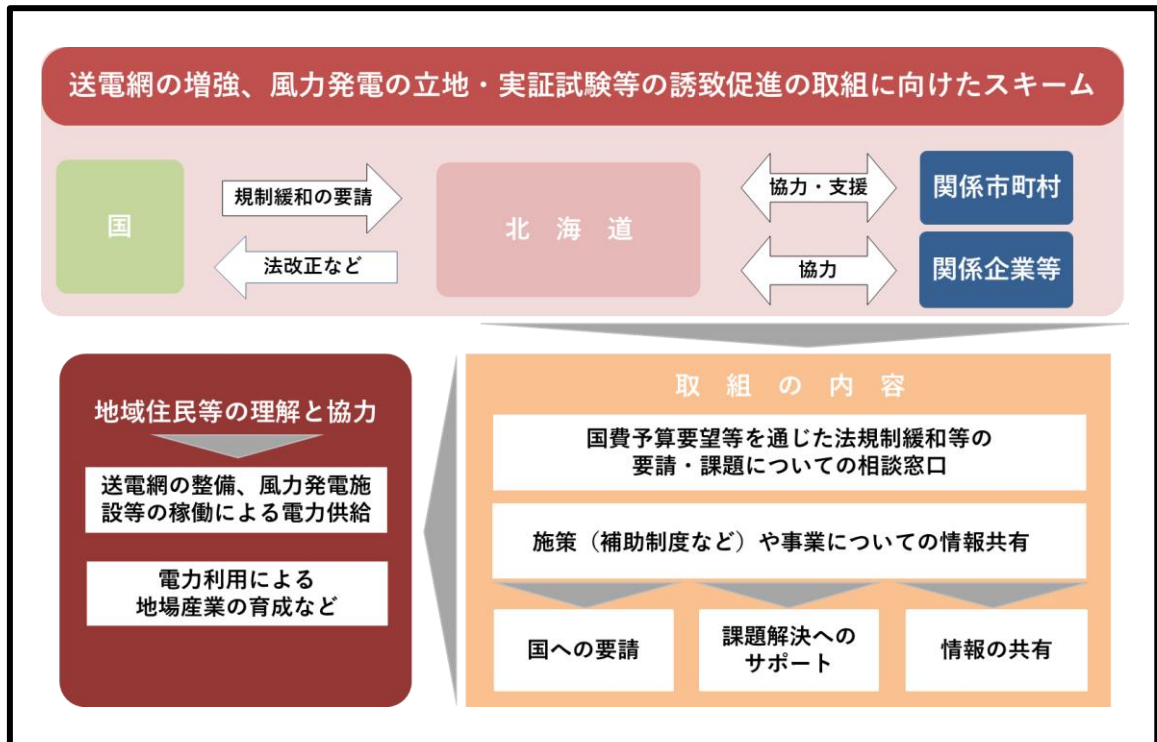
■ 地域が連携した新エネルギー*導入促進の取組

- 政策課題の発掘・整理や情報の共有
- 新エネルギーの周知・PR



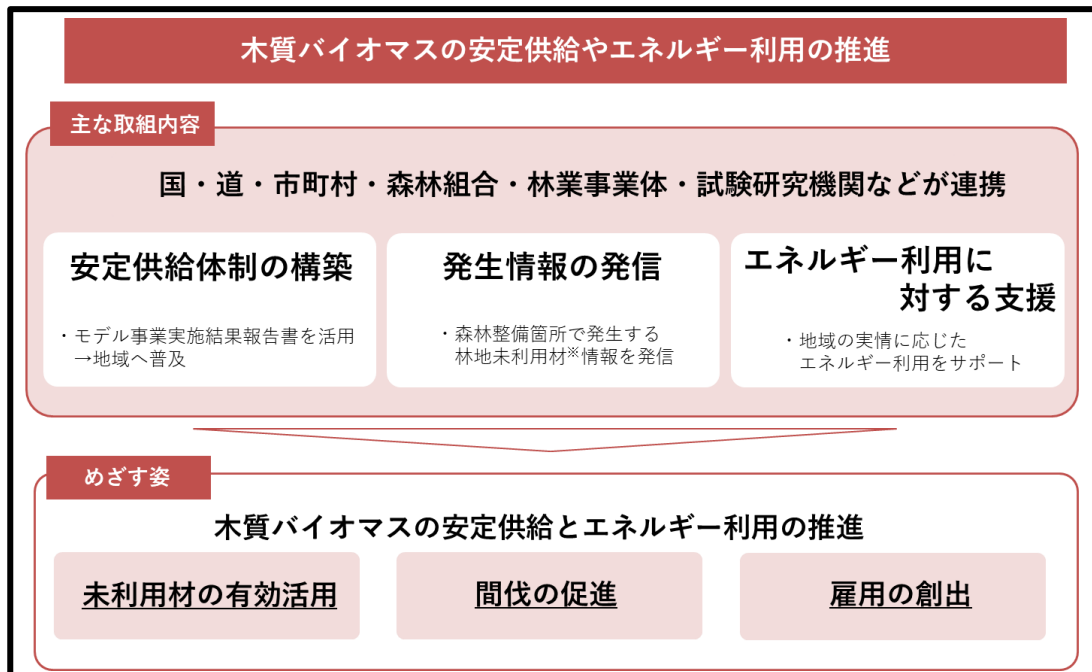
■ 自然に根ざしたエネルギーの地産地消に向けた取組

- 風力発電・太陽光発電など新エネルギーの取組の促進



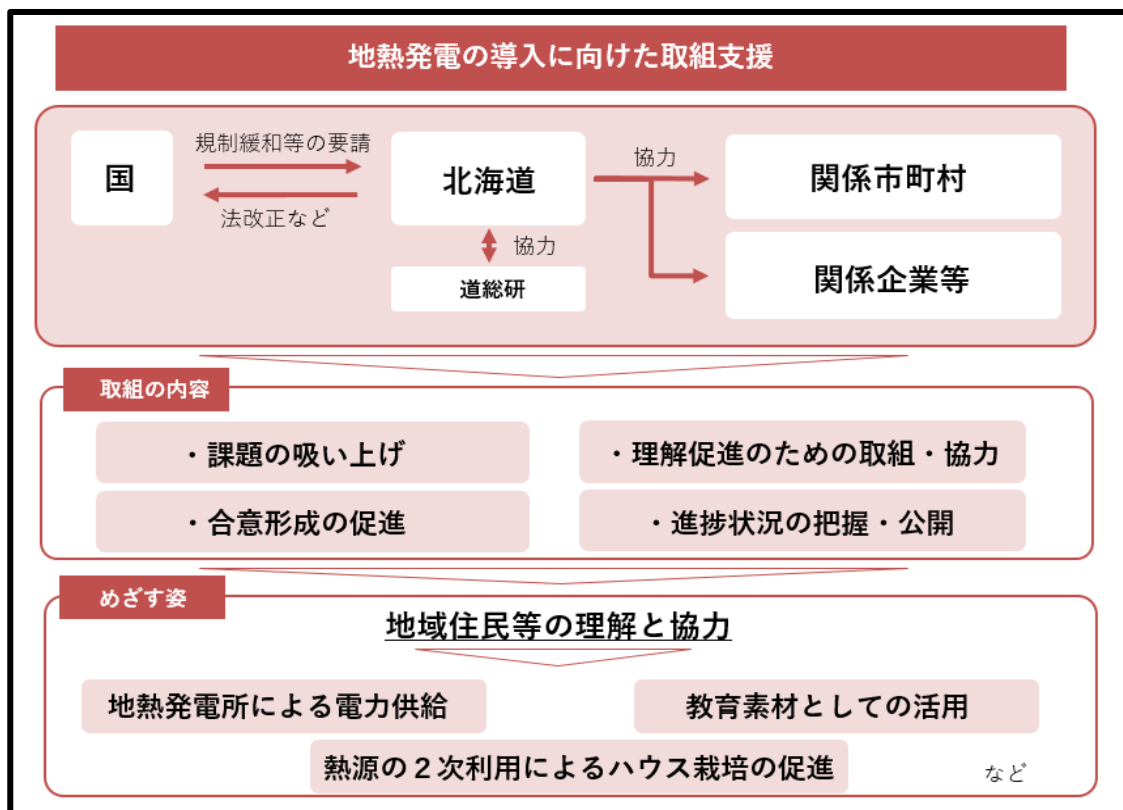
■ 木質バイオマス*の安定供給やエネルギー利用の推進

- 地域関係者が連携した木質バイオマス安定供給体制の構築
- 木質バイオマスの発生情報の発信
- 木質バイオマスのエネルギー利用に対する支援



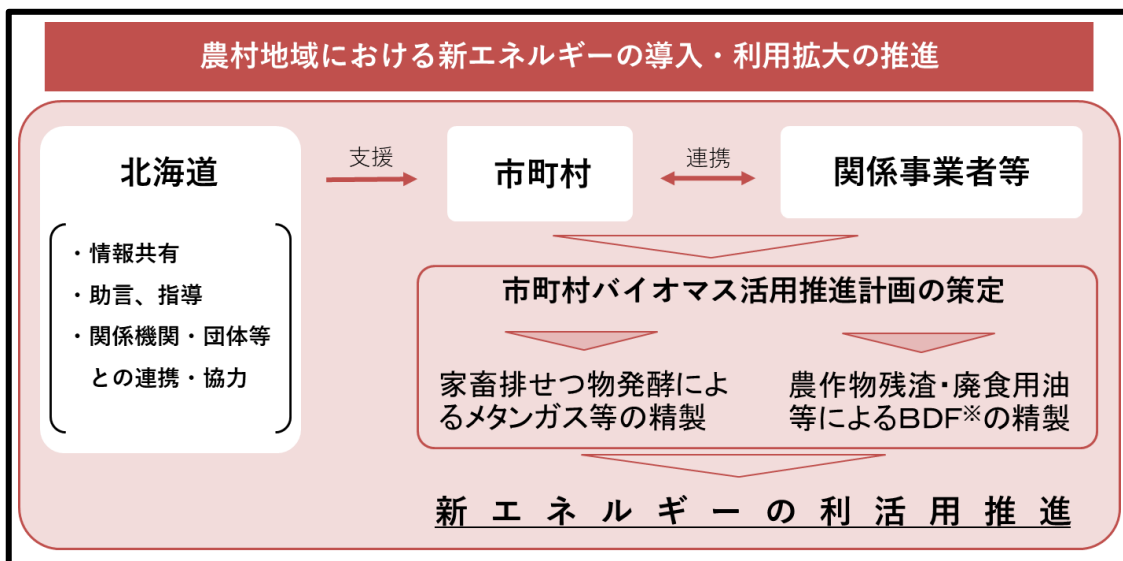
■ 地熱発電*の導入に向けた取組支援

- 法規制等の課題解決に向けた関係機関への働きかけ
- 地域の合意形成の推進



■ 農村地域における新エネルギー※の導入・利用拡大の推進

○農村地域におけるバイオマス※利用拡大



関連する主な基盤整備

○新エネルギーの開発・活用促進と送電網の整備促進

関連するSDGsの目標

